

号外 2 号を引き続き担当神谷でお送りさせていただきます。

《鈴鹿 8 時間耐久ロードレース 決勝レポート》

・ 7 月 29 日 (金)

27 日から始まった鈴鹿 8 耐レースウィークの中で最も忙しい日がこの金曜日の予選になります。

午前中に練習走行があり、その 1 時間後から、第 1 ライダーの予選 1 回目が始まります。その後第 2、第 3 ライダーの 1 回目の予選、昼休憩をはさみ各ライダーの予選 2 回目が始まります。予選が終われば、夜間走行の練習があり、この走行は、義務付けられているためキャンセルするわけにはいきません。

ただし、ここでライト類の最終チェックと、また、ライダーも普段夜のサーキットを走行すること自体がないのでその走行は非常に貴重な時間になっています。

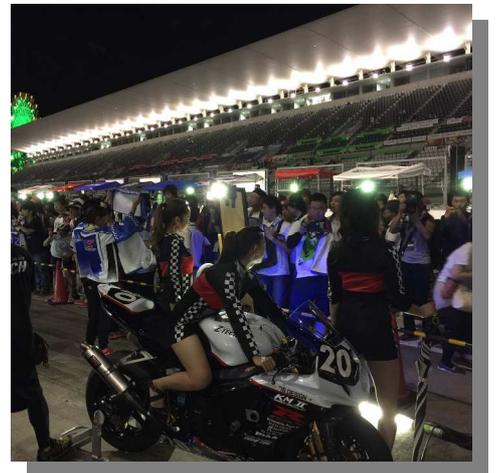
予選 1 回目は第 1 ライダーの和田憲史郎選手が 2 分 14 秒 6 の自己ベストを更新し、その後、第 2 ライダーの川瀬和希選手、第 3 ライダーの福山京太選手とタイムアタックをしましたが、結果、和田選手のタイムにより 50 番グリッドが確定しました。



・ 7 月 30 日 (土)

この日は、前座レースの鈴鹿 4 時間耐久レースがあるためフリー走行が一度あるだけで走行自体は少ないのですが、決勝にむけての整備に多くの時間を費やす事になります。また鈴鹿 4 時間耐久レースの決勝が終われば、夜には 8 耐前夜祭が催されます。芸能人の方がゲストに来るなど決勝に向けて会場はますます盛り上がっていきます。

しかし、メカニックにとっては、決勝に向けての作戦やマシンの整備などで楽しむ余裕はなく、8 時間無事にトラブルなく走りきれるよう、ただそれだけを目指して作業は夜を徹して行いました。



・ 7 月 31 日 (日)

決勝の朝は早く、午前 5 時 30 分にホテルを出発しました。

サーキットに到着後、マシンの最終チェックをおこない、決勝前の最後のフリー走行に向けて準備をしました。フリー走行後、路面のコンディションが急に変わったためか、ライダーが 3 人とも、現状のセッティングでは危ないという話になりました。このタイミングでの変更はぶっつけ本番になりできれば避けたいのですが、このままでは転倒の可能性が高いという結論になり、変更せざるを得ませんでした。

午前 11 時 30 分、気温 35 度、路面温度 55 度、6 万 9 千人の観客が見つめる中、伝統のルマン式スタートにより決勝の火蓋が切られました。

スタートライダーである和田選手は、冷静にスタートを切り、他の選手が転倒などでポジションを下げていく中、

着実にポジションを上げていきました。

チームの作戦としては、8時間で9回ピットイン、一人が23周回ずつ走る予定でした。ところが、和田選手は17週目でピットインのサインを送ってきました。なにかトラブルがあったに違いないとは思いましたが、ピット側では何もわからないため、少し早めのピットインを行うことにしました。

和田選手が、ピットに入ってきたときは緊張が走りましたが、特に指示がなかったので通常通り、タイヤ交換とガソリンの補給、2ndライダーの川瀬選手に交代しました。その後、和田選手の話を知ると、直線で、エンジンがもたつくとのことでした。ガス欠のような症状なので、念のため早めに戻ってきたとのことでした。しかし、給油したガソリンの量を調べると、バイクにはまだまだガソリンが残っているとしか考えられませんでした。

続く、川瀬選手も同じくして、17週目でピットインのサインを送ってきました。やはりピットインせざるを得ないのでピットイン後、話を聞くと同じ症状が出るとのことでした。その時点で3rdライダーの福山選手はすでに走行していたため、福山選手にも同じ症状が出たなら、問題はガソリタンクだと推測し、福山選手の走行が終わり次第、ガソリタンクの交換をすることに決めました。

ガソリタンク交換後は、症状も消え、序盤に早めのタイミングでピットインした分の周回数を取り戻すため一人当たりの周回数を増やし、トラブルもなく順調に走り、午後7時30分、暗闇の中、無事チェッカーを受けることができました。



今回の8耐出場にあたって、本当にさまざまな人のサポートがあり、無事にレースが出来たと思います。最初の段階では8耐出場すら危ぶまれていたことを考えるとこのリザルトは十分過ぎるほどの出来だと考えています。昨年の12月、和田選手と立てた2人の計画が最終的に20人以上のチームとなり、ひとつの目標のために行動することができました。また個人的にもいろいろ不安な面はありましたが、乗り越えることが出来、少し自信を取り戻すことが出来ました。この場を借りてご協力いただいた方々、メーカー様、スポンサー様にお礼申し上げます。

神谷 勇介

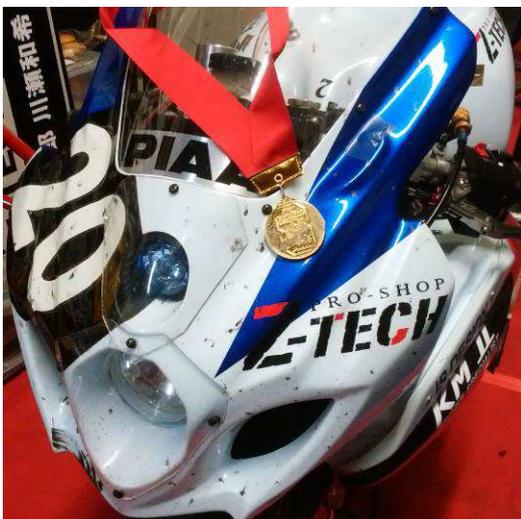
2016年鈴鹿8時間耐久レースリザルト

チーム KMII Z-TECH

ライダー 和田憲史郎/川瀬和希/福山京太

予選 50位 (2'14'598) 総合順位 出走台数 68台中 (完走 54台) 33位クラス 28位

周回数 199周 合計時間 8時間 1分 46秒





スタート前のグリッドにて



ピットウォークのひとつコマ



今大会の優勝チーム#21 とバトル?



予選タイムアタックに入ります



整備風景



決勝後のチームインタビュー



ゴール直前にはみんなでライダーを迎えます



スポンサー様と / ゴール後には花火が上がります

